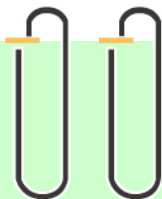


さくっと

テーマ

NISA



「さくっと」とは？

興味のある分野について、さくさくと勉強が進むように作成された調べ方ガイド(パスファインダー)です。みなさんの学習支援を行う図書館学生サポーターが作成しました。

ぜひ学習の際に参考にしてください。

図書館学生サポーター 諸見里

1. はじめに

2024年からNISAが新しくなり、注目を浴びています。しかし、今まで投資を行ったことがない方はNISAや投資に関して不安があると思います。そこで、今回の記事ではNISAについて紹介させていただきたいと思います。NISAについて少しでも知っていただくことで、資産形成のご参考にしていただければと思います。

- テーマに関するキーワード
投資、資産形成、非課税、長期間、分散、積み立て、株式、信託投資

2. なぜ日本はNISAを始めた？

NISAとは、株式や投資信託を売却する時に発生する利益を非課税で受け取ることができる制度です(NISAを使用しない場合、利益の20.315%を税金として国に納める必要があります。)。政府は貯金以外の手段も活用して国民1人1人が安定した資産形成を行うことを目的にNISAを始めました。日本ではこれまで銀行預金が資産形成の手段として主流でした。しかし、銀行預金では金利分しか資産が増加しません。すでに海外では非課税で投資を行うことができる制度があり、資産形成をする手段の1つとして投資が浸透しています(アメリカでは50%以上、イギリスでは40%以上の資産を投資で形成しています。)。投資は損をするイメージがあると思いますが、長期間、分散して、積み立てながら投資することで、リスク(損の可能性)を小さくして安定した資産形成を行うことができます。

3. 投資のリスクを減らすための投資方法

投資のリスクを減らすために長期間・分散・積立で投資することがおすすめされています。

長期投資

図1から株式などの金融商品は1日あたりの値動きが非常に激しく、数日で利益を出すことが難しいです。しかし、数十年単位で見ると図2のように緩やかに上昇していくと考えられています。そのため、現在から退職するまで金融商品を保持し続けることで安定した利益を見込むことができます。

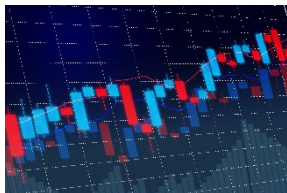


図1 1日ごとの値動き
(引用元:photoAC)

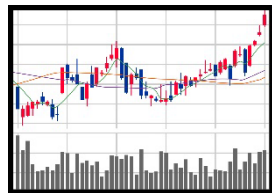


図2 数十年単位の値動き
(引用元:photoAC)

分散投資

日経平均はバブル崩壊後低迷し続けたため、日経平均の株式だけを長期間保持しても利益が出ることが難しいです。しかし、アメリカの株式は日本のバブル崩壊後も長期的に上昇し続けました。つまり、国内株式と海外株式など数種類の金融商品に分散して投資することで利益を安定化することができます。

積立投資

金融商品は安く買って高く売ることが基本です。しかし、図1のように値動きが激しいため、直近の最安値を判断することは難しいです。そこで、毎月一定金額の投資を続けることで、購入価格を平均化することができ、最高値で購入することを防ぐことができます。また、自動で毎月購入する設定にしておけば、買い忘れを防ぎ、継続して投資を行いやすくなります。

4. NISA対象となる金融商品

NISAでは全ての株式や投資信託が対象になるわけではありません。金融庁が長期・分散・積立投資に適している投資信託(株式・債券・不動産の組み合わせ)を選別しています。投資信託には多くの株式を組み合わせた日経平均やアメリカの指標(S&P)をモデルとした商品があり(例えば、三菱UFJ-eMAXIS Slim 米国株式(S&P500))、これを購入することで少額からでも分散投資ができます。投資信託によっては手数料も安いいため、初めてNISAで投資を行う方におすすめされます。また、NISA購入枠の一部を使用して個別の国内・海外株式を自分で選んで購入することも可能です。

5. その他の非課税投資制度

NISA以外の非課税投資制度として確定拠出年金があります。確定拠出年金のメリットは投資した金額だけ所得から差し引かれるため、納める税金が減ることです。デメリットとして、NISAは購入した金融商品を数日以内に売却できますが、確定拠出年金は購入した金融商品を60歳以降にしか売却して受け取ることができません。会社によってはサポートを受けながら確定拠出年金を行うことができることもあるため、働き始めるときに検討してください。

6. 学習のために

NISA、確定拠出年金、投資信託について以下の本に説明があるので、もっと知りたい方は読んでみてください。

1. 「パクン式お金の育て方：無理なく貯めて賢く増やす」

著者：パトリック・ハーラン 出版社：朝日新聞

出版年月：2022/11 ISBN：9784023322714

請求記号：591/H-2 資料ID：001116823



2. 「難しいことはわかりませんが、お金の増やし方を教えてください! 超改訂版」

著者：山崎元、大橋弘祐 出版社：文響社

出版年月：2023/12 ISBN：9784866516707

請求記号：338.1/Y48/3 資料ID：001119106



3. 「日経記者YouTuberと学ぶ投資の教室」

著者：高井宏章 出版社：日経BP日本経済新聞出版

出版年月：2022/5 ISBN：9784296000746

請求記号：338.1/T-9 資料ID：001115508



7. 参考文献

NISAについて

- 金融庁「NISA特設ウェブサイト」
<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/>
参照日:2024/04/16

確定拠出年金について

- 厚生労働省「私的年金制度の概要(企業年金、個人年金)」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/nenkin/nenkin/kigyounenkin.html>
参照日:2024/04/16

